

ESGに関する重要課題

山陽特殊製鋼グループは、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を築くことで、当社グループの持続的成長を実現し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。企業は社会の一員であり、ステークホルダーからの信頼なくして会社の発展はありえません。これからも、企業理念である「信頼の経営」を実践し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

	重要課題	目標・取り組み	2021年度実績(一部は2022年度実績)	参照ページ	関連するSDGs
E Environment	気候変動防止	2050年カーボンニュートラルの実現を目指す 2030年度目標：2013年度比50%削減	当社2021年度CO ₂ 排出量：2013年度比15%(13万t)削減	P.11~14	 
	循環型社会への貢献	副産物の削減、3Rの推進	当社副産物のリサイクル率89%	P.15	 
	環境負荷低減	規制基準の順守 (水質汚濁防止法、大気汚染防止法等)	全項目において規制基準を順守 (法令・協定からの違反・逸脱事例なし)	P.16	 
S Social	安全・防災	総合完全無災害の達成 (労働災害ゼロ、通勤途上災害ゼロ) 防災対策およびBCM(事業継続マネジメント)の充実	「トップダウンとボトムアップの融合」と「ハード対策とソフト対策の両輪」で作業リスク低減と安全に強い職場づくりの推進 工場火災や広域災害発生時を想定した防災訓練等の実施	P.17~18	 
	ダイバーシティ経営の推進	女性活躍推進(平均勤続年数、管理職比率の増加)、 高齢者の活躍推進、障がい者の活躍支援、 ワークライフバランスの推進	女性管理職比率：2020年4月比+1.7% 女性社員平均勤続年数：総合職+4%、技術職+11.5% 男性社員育児休業取得率：37.8%	P.19	 
	健康経営の推進	一人ひとりが毎日充実して働くことのできる 職場環境づくり	健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定	P.20	 
	人材育成	自律考動型人材の育成 グローバル人材の育成	多面観察による自己変革プログラムの実施 グローバル人材長期育成計画の策定	P.21	 
	品質向上	品質マネジメントシステムの継続的改善等	成長が見込まれる「風力発電」「鉄道」「自動車電動化」分野の 技術強化、海外グループ会社の品質向上支援活動	P.22	 
	技術先進性の更なる追求	グローバル展開を見据えた高信頼性商品と新技術の 迅速かつ継続的な創出	部品製造工程の省略・簡略化を実現する高強度肌焼鋼「ECOMAX [®] 5」、 過酷な使用環境における型寿命と製品品質の安定に貢献する金型用鋼 「QTP-HARMOTEX [®] 」等を開発	P.23	 
	持続可能な調達の実現	公正・公平な取引とパートナーシップの構築 安定調達構造の構築 環境、人権に配慮した調達の推進	安定調達の推進 サプライヤー表彰の実施	P.24	 
G Governance	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの充実	(2022年6月から)監査等委員会設置会社に移行 実効性評価を踏まえた取締役会運営の継続的改善	P.25	
	内部統制システム	リスクマネジメント・コンプライアンス活動の推進	自律的内部統制システムの継続的改善 内部統制教育・周知活動の実施 コンプライアンス相談窓口(内部通報制度)の適正な運用	P.26	